

お客さまから、
「私たちの金融機関」と支持され、評価される
『アワーズしんきんバンクの実現』を目指します。



会 長
吉本 淳一



理事長
佐藤 信明

平素より北海道信用金庫に格別のお引き立てを賜り、心より御礼申し上げます。

本誌は、当金庫の経営内容及び地域に根ざした営業活動、地域貢献等についてご理解を深めていただけるよう作成いたしました。本誌を通じ、当金庫の営業概況・経営姿勢をご理解いただければ幸いです。

2022年度の我が国経済は、コロナ禍における社会活動が正常化に向け進み始めたことにより、持ち直しの動きがみられた一方、世界的にエネルギー・原材料・食料品価格が高騰する中、急激な円安の進行が物価上昇に拍車をかけ、企業の業績への影響が懸念される状況となりました。金融面においては、日本銀行が長期金利の変動許容幅を見直し、金融緩和策の修正に踏み切ったことで、金融政策の正常化に向けた動きが加速すると思われましたが、欧米金融機関の相次ぐ破綻もあり、不安定な状況が続いております。

2023年度については、ロシア・ウクライナ情勢ならびに新型コロナウイルス感染症の5類移行による国内経済への影響などに注意を要しますが、北海道においては、ボールパークの開業やRapidus（ラピダス）の進出などが、地域経済へ好影響をもたらすものとして期待されております。

取り巻く環境が変化する中、当金庫におきましては不変の最重要課題であるコンプライアンス態勢の強化、顧客保護等の徹底、リスク管理態勢の構築・強化を進めるとともに、「四方良し」*の経営を実践し「アワーズしんきんバンクの実現」を目指してまいります。そして、一人一人が持てる能力を最大限発揮し、心をついに「ONE TEAM（ワンチーム）」となって地域支援・課題解決に取り組んでまいりますので、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます、巻頭の挨拶といたします。

2023年7月

*「四方良し」…「会員・お客様よし」「地域社会よし」「金庫・役職員(家族)よし」「環境よし」